

世界最高品質

4つの“抗の力”

1

抗ウイルス

ウイルス繁殖の素である
タンパク質を分離分解し*99.99%
以上の力価低下を実証

*生物研究所での実証実験にて300万個
ウイルスが48時間後に50個以下に減少

2

抗菌

光の力で触媒が反応。
強い酸化分解により菌の
生息条件を無くします。

3

抗カビ

光触媒の強い酸化分解
によりカビの生息環境を
無くします。

4

抗臭

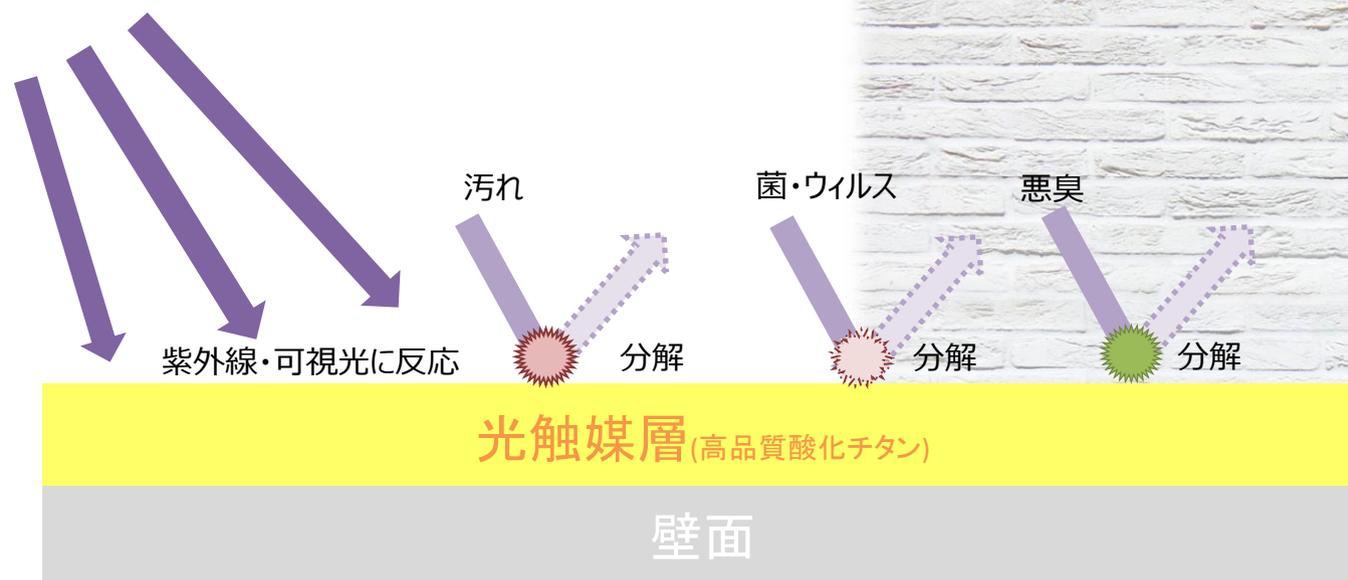
臭いの素の菌がいなくなったり
タバコ煙などの有機化合物を
酸化分解し嫌な臭いを減退

医療現場でも使用されている
高品質光触媒 サガンコートをもっと身近な存在へ

サガンコート®の仕組み



- STEP1 光触媒原料である高品質酸化チタンが、
- STEP2 太陽や蛍光灯等の光エネルギーにあたると、
- STEP3 触媒反応による酸化分解が起き、
有害な微生物や化学物質を分解・除去します。



- 光触媒の材料「酸化チタン」は化粧品や食品添加物などにも使われており、アレルギー疾患患者でも安心して利用できる素材です。

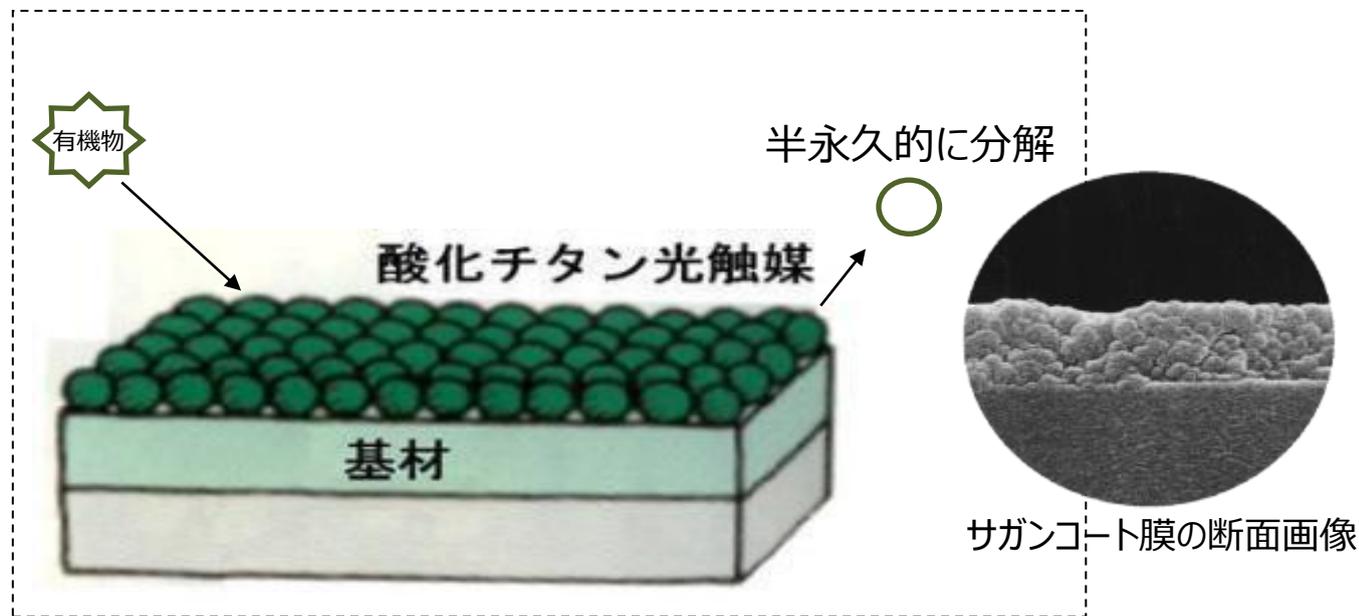
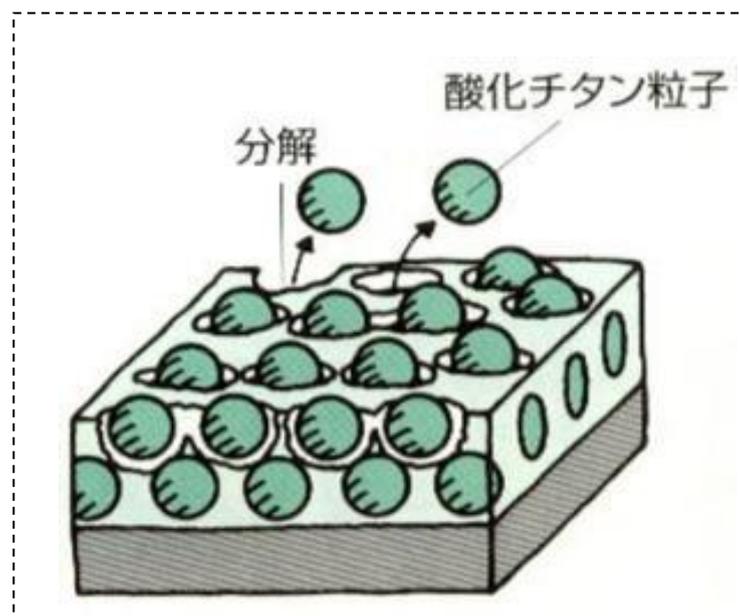
※日本食品分析センター試験済です



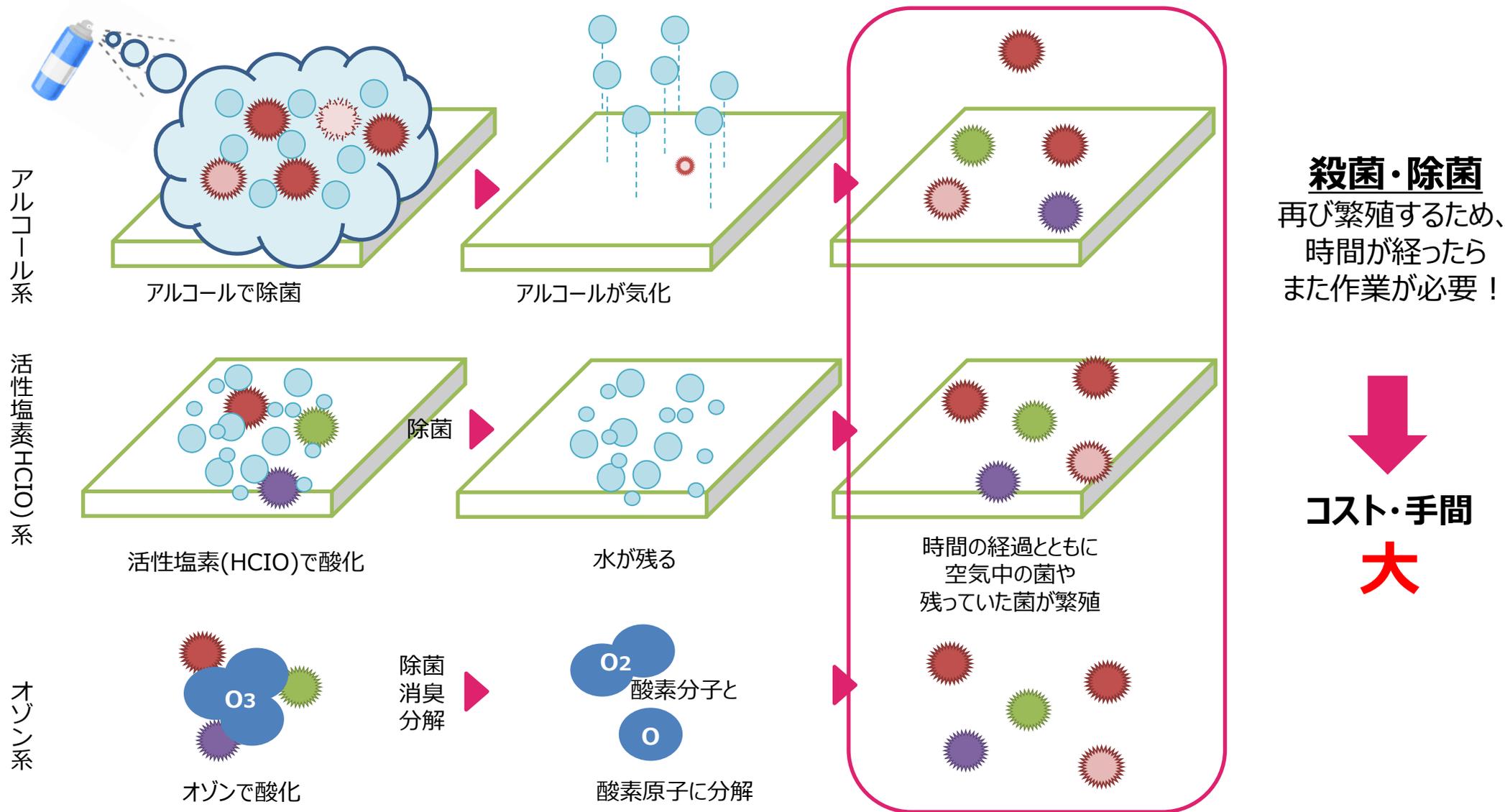
サガンコートと類似品の違い

一般的な光触媒塗料：有機系バインダーが含まれており、時間の経過と共にそのバインダーも光触媒反応で分解されてしまい、膜が自己劣化を起こし、**徐々に剥離してまいります**。（左下図）

サガンコート：水と酸化チタンのみで構成しており、乾燥後は酸化チタン成分のみの光触媒膜となります。（中央図）
そのため、一般的な従来品と比べ自己劣化を起こさないほか、光触媒活性が高いことが特徴で
長い持続効果が期待できます。



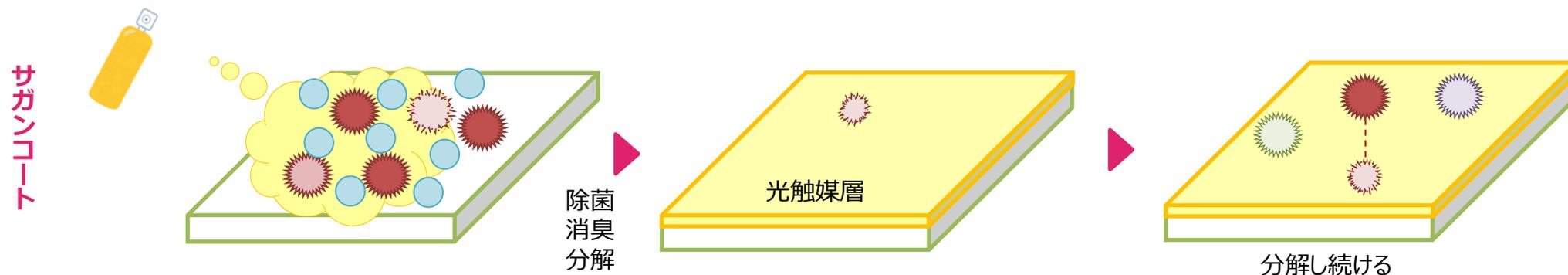
抗菌と殺菌・除菌の違い



一般的な除菌・殺菌対策商品は、継続的に殺菌、除菌、消臭、防カビするために、定期的に処置が必要。

抗菌と殺菌・除菌の違い

サガンコートは1度塗布すれば、塗膜がある限り、半永久的に**効果が持続**することが期待できます！



毎日の殺菌、除菌、消臭作業が不要
これが**抗菌**！

どんなウイルスに効くの？

ウイルスは大きく分けて2種類います。

・【エンベロープウイルス】 : エンベロープ(油膜成分)のあるウイルス

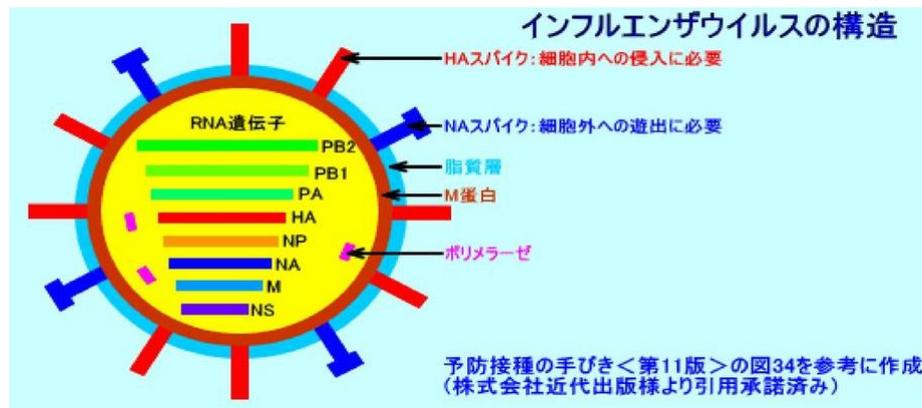
<代表的なエンベロープウイルス>

コロナウイルス インフルエンザウイルス ヘルペスウイルス 風疹ウイルス B型やC型肝炎ウイルス エイズウイルス エボラ など

・【ノンエンベロープウイルス】 : エンベロープのないウイルス

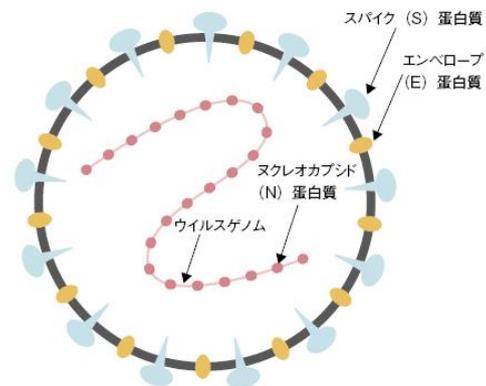
<代表的なノンエンベロープウイルス>

ノロウイルス、大腸菌、アデノウイルス・A型肝炎・ポリオウイルス・コクサッキーウイルス など



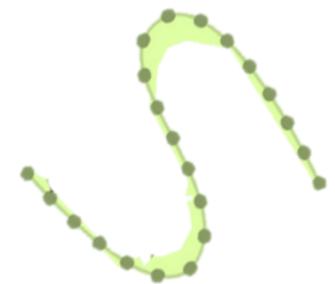
コロナウイルスの構造

コロナウイルスも外側の殻(油膜成分)と中身の遺伝情報(タンパク質)でできています。



ノンエンベロープウイルス

殻がなく、遺伝情報のみで構成されている。ウイルス自体の生命力が強いため、アルコールなどでは殺菌されにくい。



サガンコート®の効能：抗ウイルス・抗菌・抗カビ

室内のあらゆる菌に効果を発揮！

- 大腸菌（O-157等）
- ノロウイルス
食中毒を引き起こす原因
繁殖場所：まな板上など
- 真菌（カビ等）
喘息や水虫の原因となる
繁殖場所：カーペット裏等の湿気がある場所



鳥インフルエンザウイルスの力価減少実験 ※北里大学によるレポート結果

300万個

99.99%以上
消滅！

50個以下

実験開始

48時間後

平成 18 年 12 月 6 日
住友商事ケミカル株式会社 御中
株式会社盤コーポレーション 御中

北里大学獣医学部
獣医学科人獣共通感染症学研究室
教授 中村 政幸
青森県十和田市東二十三番町 35-1
Tel : 0176-23-4371
Fax : 0176-23-8703

試験検査報告書

平成 18 年 4 月 20 日にご依頼を受けました供試品に対するウイルス力価低下試験の結果、
下記の通りであることを証明致します。

記

1. 供試品：ペルオキソクタン酸水溶液 TPX-HLS-TYPE (7ラスタイヤに塗布)
2. 試験目的：ペルオキソクタン酸水溶液の鳥インフルエンザウイルスに対する抗ウイルス効果の研究
3. 試験方法：供試品が塗布されたシャーレにウイルス液を滴下し、蓋を閉じた状態で、20W蛍光灯を 10cm の距離から照射した。経時的にシャーレからウイルス液を採り、ウイルス力価を 50%培養細胞感染量 (TCID₅₀/ml) で測定した。
4. 使用ウイルス：高病原性トリインフルエンザウイルス (H7N1 弱毒タイプ)
5. 使用細胞：MDCK 細胞
6. 試験結果：

供試品	開始時	24 時間後	48 時間後
TPX-HLS-TYPE	6.50	4.50	1.50
対照	6.50	5.50	3.00

単位：log₁₀TCID₅₀/ml

開始時に 10 の 6.5 乗 (3,000,000 個) のウイルスが、供試品を塗布したシャーレでは、48 時間後に TPX-HLS-TYPE で 50 個以下に減少した。すなわち、力価が 50,000 倍低下した。

以上

弊社オフィスでのATP拭き取り検査



オフィス内パーテーションにて検査

サガンコート
TPX-HL塗布

※赤丸部分が検査個所です。



30分後...



18時間後...



blockIN塗布前の数値 : 34,065
洗っていない手より汚れた数値

blockIN塗布30分後の数値 : 1,685
念入りに手洗いした手と同等値

blockIN塗布18時間後の数値 : 853
料理人の調理前に理想的とされる基準値